

リウマチ便り

西の京病院 vol.5
2019年3月7日発行
文責：森



パンナ

こんにちは、パンナです。
今回は関節リウマチ患者さんが受ける
主な手術についてお話ししますね。
手術は避けたいと思う方は多いと思いますが、
タイミングを逃さないよう決断することも
大切です。

関節の破壊が進むと変形により痛みが生じます。リウマチ薬や生物学的製剤で治療をしても関節破壊が進み、痛みが続く場合は手術を選択されることもあります。主な手術には関節を残す滑膜切除術や関節形成術、関節の表面を取り除く人工関節術、関節を動かさないようにする関節固定術、その他に腱や神経に対する手術などがあります。

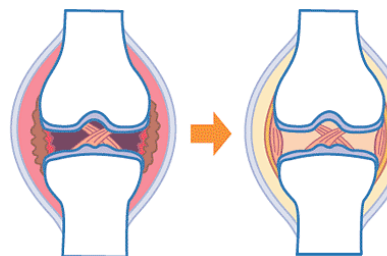
手術を選択するタイミング

- 内科の病気や関節リウマチの症状が薬物療法によりコントロールされている
- 動きの悪い関節が1~2か所だけである
- 本人の手術に対する理解があり、意欲が高い
- 全身・局部に感染症がない
- 関節破壊が高度に進んでいない状態



滑膜切除術…関節の骨や軟骨はほとんど触らず、炎症で腫れている滑膜を関節から取り除く術式です。関節の破壊が少ない時期に行うほうが効果的と言われています。滑膜切除術は頸椎を除く全ての関節で可能ですが、主に行われるのは肘・手関節・指・膝・足関節などです

膝の滑膜切除術



関節形成術…初期から中期のまだ関節の形状が残っている状態の時、関節の一部を削ったりして形を整えて機能や整容を回復させる術式です。足趾・手首・肘・指などで行われます。

人工関節置換術…人工関節が選択されることのある関節は肩・肘・指・股・膝・足・足趾などです。

人工肩関節置換術 人工肘関節置換術 人工股関節置換術 人工膝関節置換術



関節固定術…関節を固定することで、確実な除痛と支持性を得るために行われます。主に行われるのは頸椎・手関節・足関節・手指（特に母指）や足の母趾などです。関節の動きは悪くなります。

2月21日 第2回リウマチ教室を開催

今回は生物学的製剤の皮下注射器を実際に触りながらお話をしました。

まず初めに尾崎医師より「生物学的製剤について」の話がありました。次に久保佐千子薬剤師より「自己注射を体験してみよう」の話の後に実際の皮下注射器を触りながら体験していただきました。

参加者は15名でした。

(内1名が患者家族でした。)

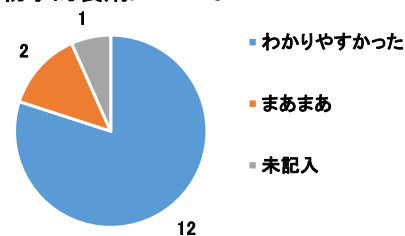


「生物学的製剤について」わかりやすかったと答えられた方が12人いました。中には「副作用が怖い」という意見もありました。

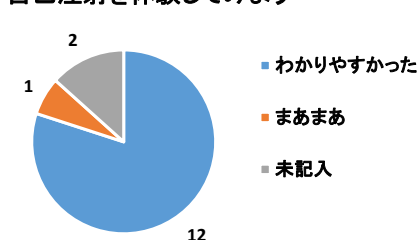
「自己注射を体験してみよう」わかりやすかったと答えられた方が12名いました。「良い経験になりました」という意見がありました。



生物学的製剤について

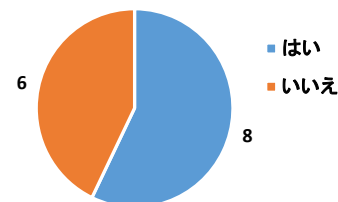


自己注射を体験してみよう

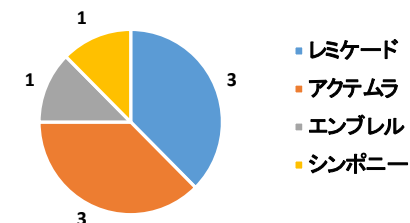


今回の参加者で生物学的製剤を使用している方が8名、内訳はグラフの通りです。使用していない方の半数が必要になったら考えたいという意見がありました。

生物学的製剤を使用してますか



「はい」と答えた方の使用製剤名



今回は開始時間を前回より1時間早めてみましたが、ほぼ全員の方に好評でした。

全体を通して「参加して良かった」「注射器に触れてよかった」「生物学的製剤の費用について知りたい」等沢山の意見や要望も聞くことができました。

今後も治療の提供や悩みなどを解消するためにリウマチ教室を定期的に開催したいと思いました。

「いいえ」と答えた方の使用希望

